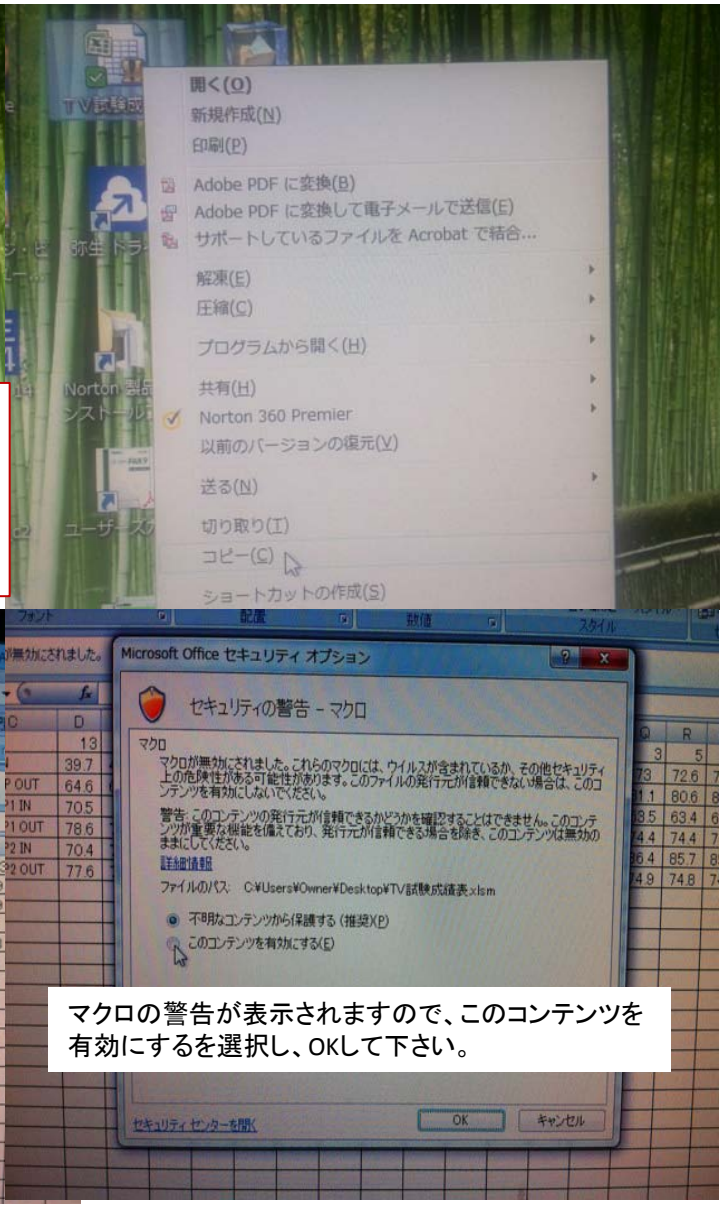
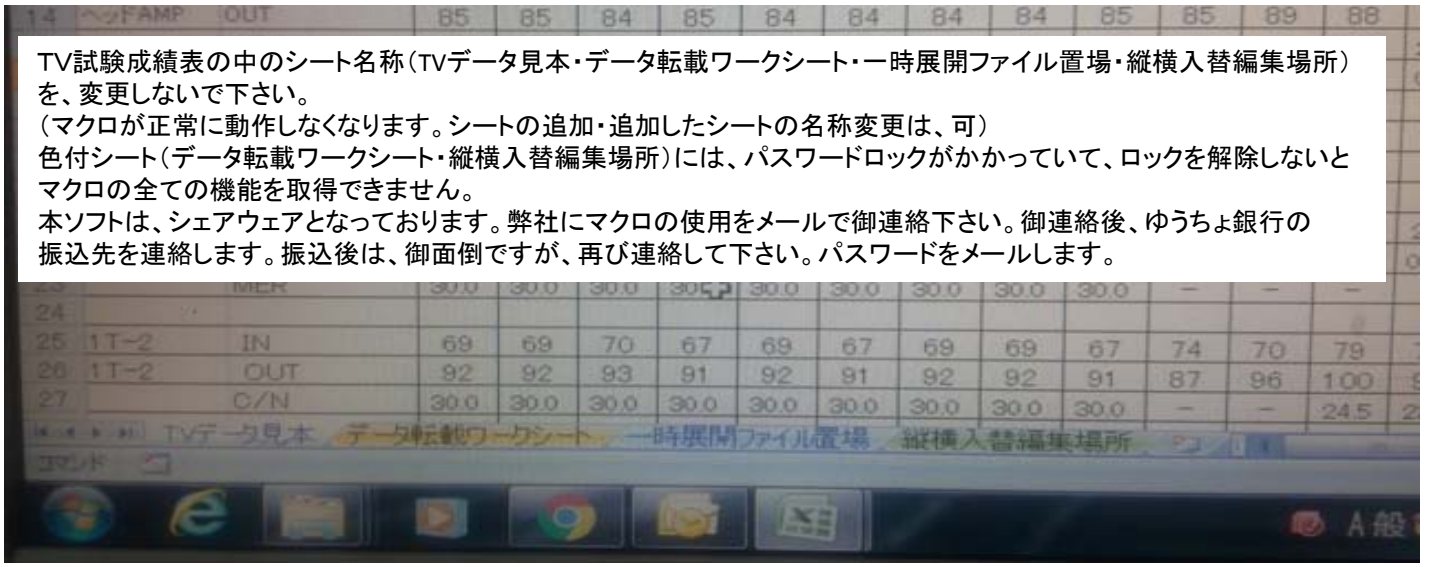
TV試験成績表マクロファイルの使用方法

ダウンロードした、マクロ付きエクセルBOOKの
「TV試験成績表」は、パソコンのデスクトップ等に保管し、
BOOK名等の変更を行わないように注意して下さい。
TV試験成績表を新たに作成していく場合は、デスクトップの
BOOKをコピーして、作業するホルダーに貼り付けして
使用して下さい。

それでは、マクロ付きエクセルBOOKの「TV試験成績表」を
開いていきますと、写真のようなセキュリティ警告が
表示されますので、御注意下さい。
オプションをクリックして、下さい

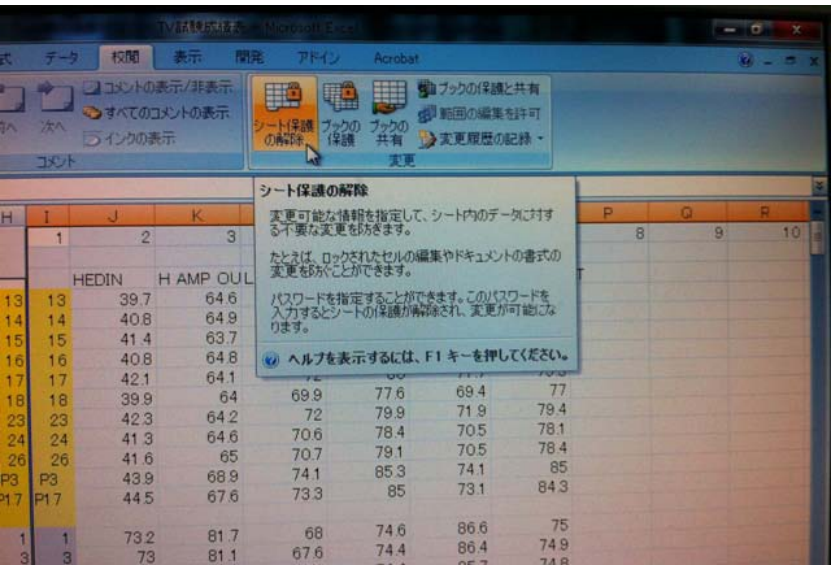


マクロの警告が表示されますので、このコンテンツを
有効にするを選択し、OKして下さい。

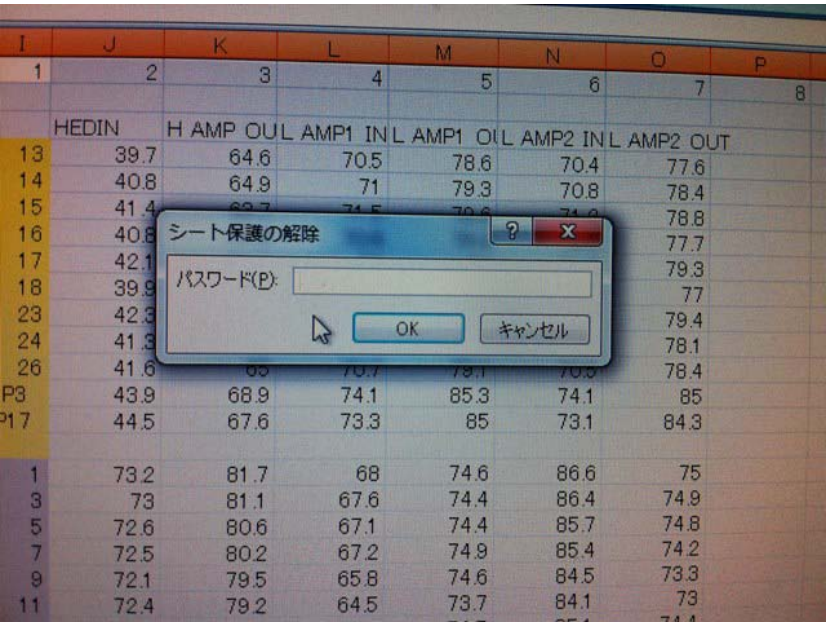


TV試験成績表の中のシート名称（TVデータ見本・データ転載ワークシート・一時展開ファイル置場・縦横入替編集場所）
を、変更しないで下さい。
（マクロが正常に動作しなくなります。シートの追加・追加したシートの名称変更は、可）
色付シート（データ転載ワークシート・縦横入替編集場所）には、パスワードロックがかかっていて、ロックを解除しないと
マクロの全ての機能を取得できません。
本ソフトは、シェアウェアとなっております。弊社にマクロの使用をメールで御連絡下さい。御連絡後、ゆうちょ銀行の
振込先を連絡します。振込後は、御面倒ですが、再び連絡して下さい。パスワードをメールします。

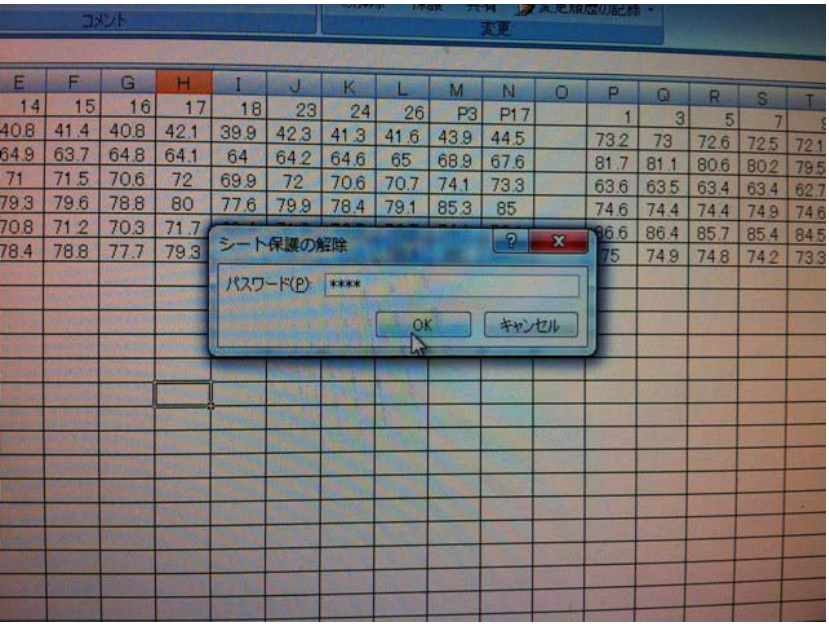
TV試験成績表マクロファイルの使用方法（パスワード解除方法）



色付シート（データ転載ワークシート・縦横入替編集場所）それぞれで、シート保護の解除を行う必要があります。
まず、それぞれで、シート最上部の校閲タブを開きます。そして、左図の様にシート保護の解除をクリックして下さい。



そうすると、左図の様にシート保護の解除の為のパスワード入力ダイアログボックスが現れます。

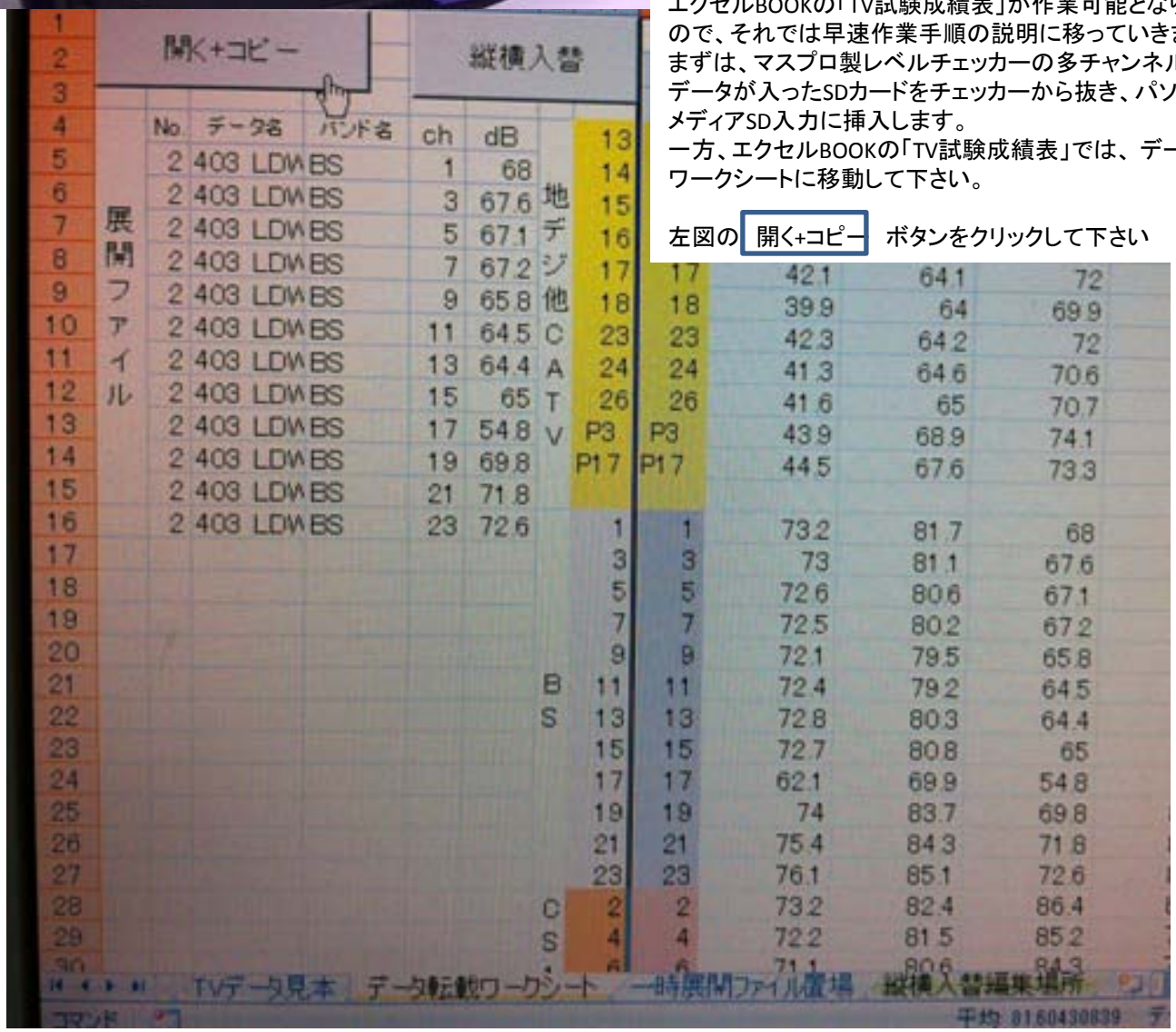


パスワード入力ダイアログボックスに弊社から連絡のあったパスワードを入力してください。
保護が解除されて、作業可能な状態となります。

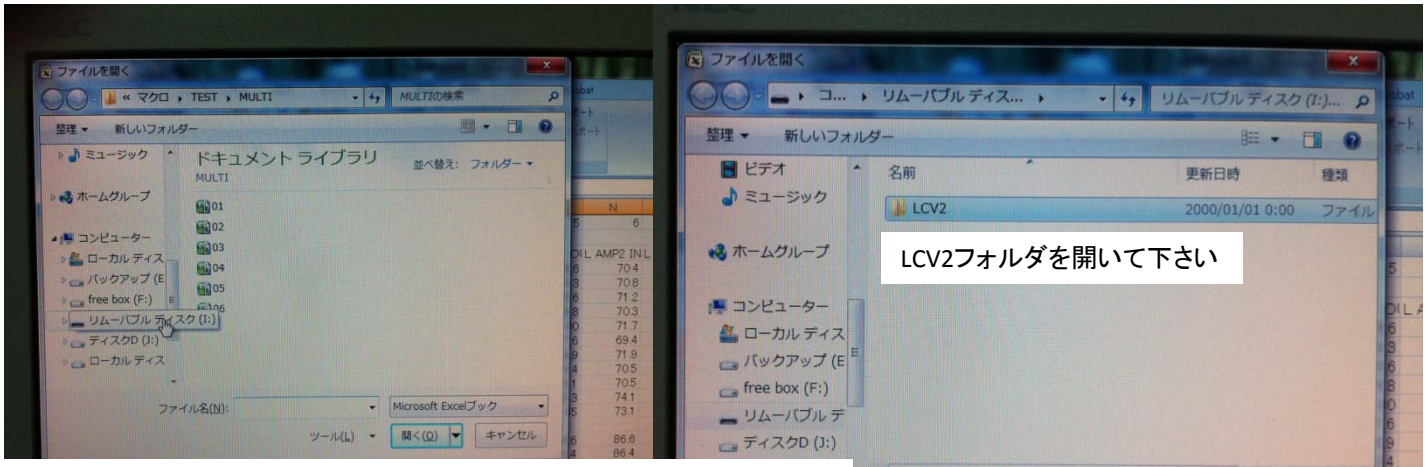
TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明1）

以上で、パスワードロック解除も終わって、マクロ付きエクセルBOOKの「TV試験成績表」が作業可能となりましたので、それでは早速作業手順の説明に移っていきます。
まずは、マスプロ製レベルチェッカーの多チャンネルの測定データが入ったSDカードをチェッカーから抜き、パソコンのメディアSD入力に挿入します。
一方、エクセルBOOKの「TV試験成績表」では、データ転載ワークシートに移動して下さい。

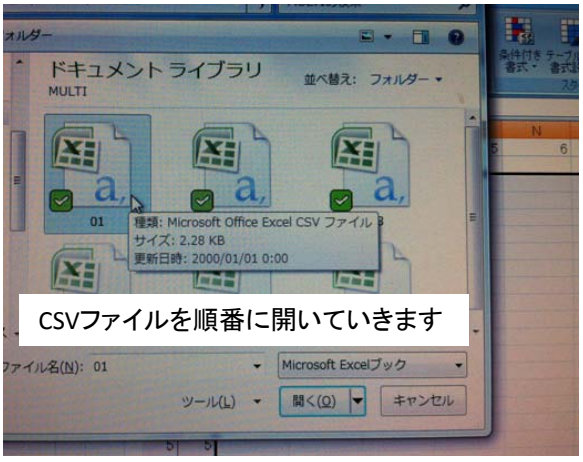
左図の 開く+コピー ボタンをクリックして下さい

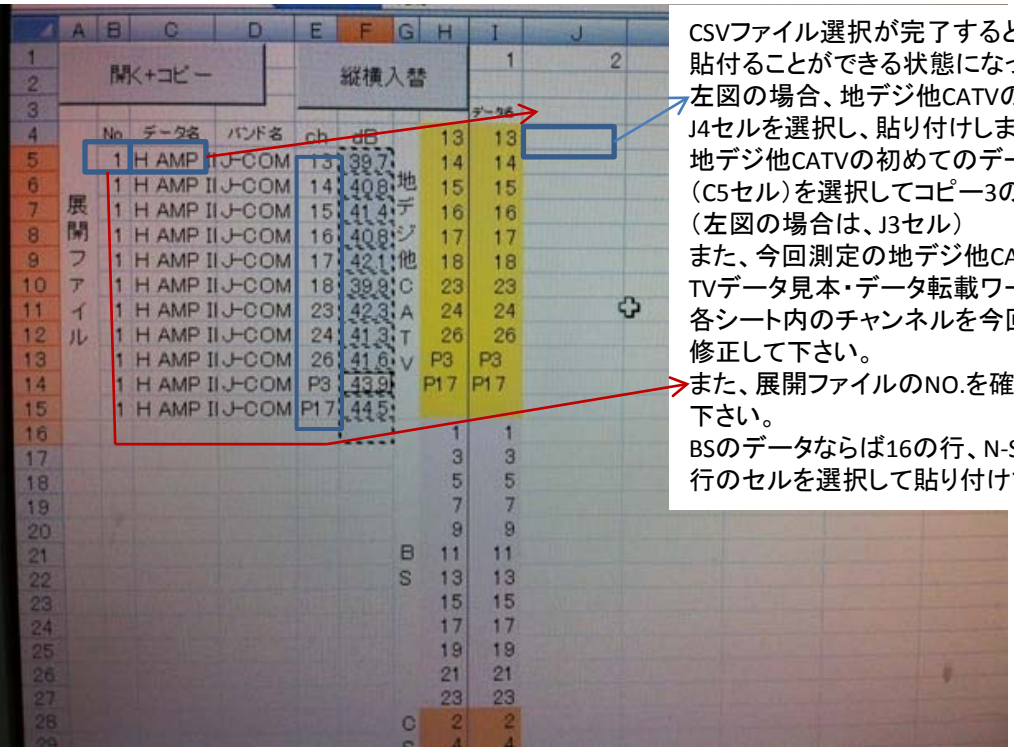


TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明2）



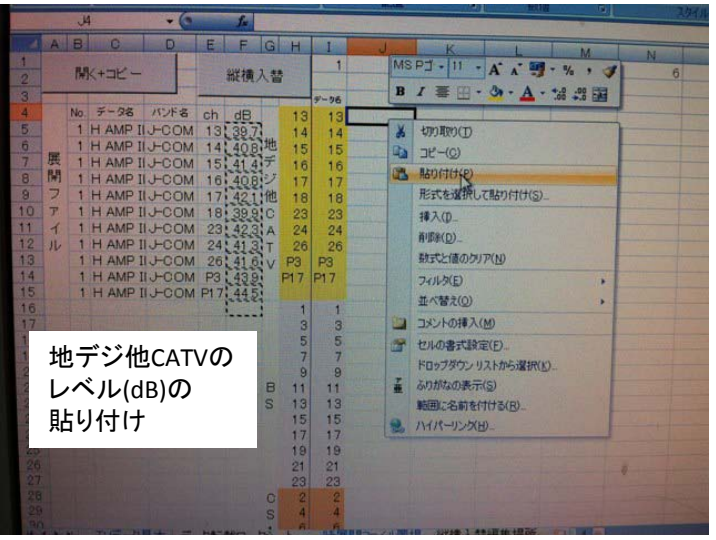
開く+コピー　ボタンをクリックすると写真のような状態になり、ファイルを選択できる状態となりますので、LCV2ファイルの中の今回編集したいファイルを選択していきます。選択して編集していく場合、元々のデータがきれいに並んでる方が編集しやすいので、現場での測定時、マンションならば部屋の順番通り測定する必要があります。

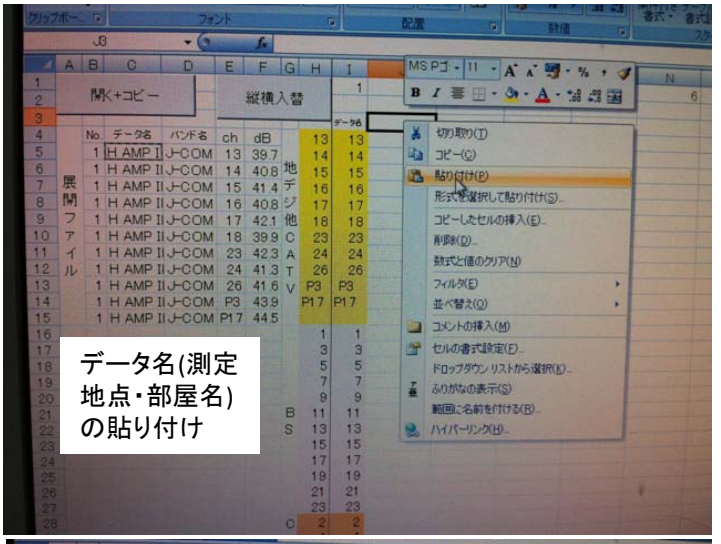


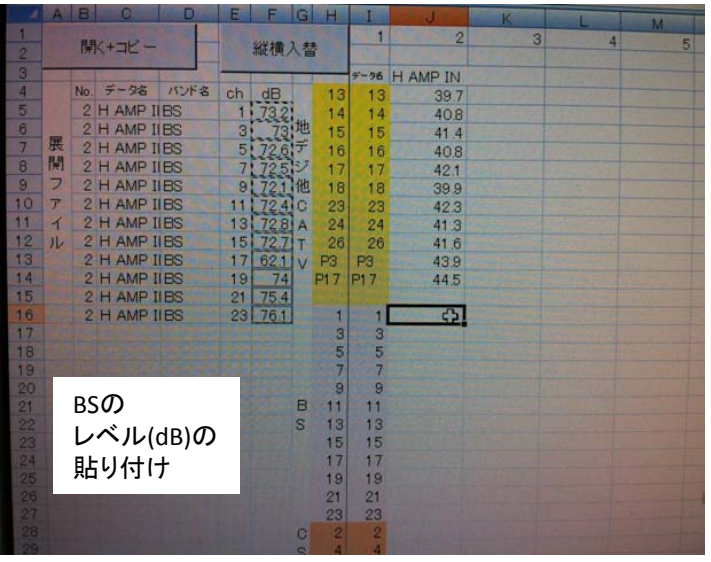


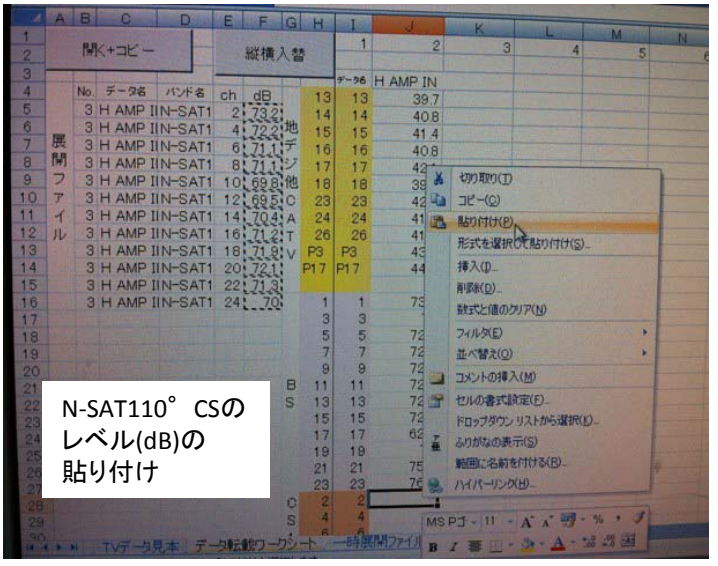
CSVファイル選択が完了すると左図のようなレベル（dB)のコピー貼付ることができる状態になってます。
左図の場合、地デジ他CATVの初めてのデータになるので、J4セルを選択し、貼り付けします。
地デジ他CATVの初めてのデータになるので、まずデータ名（C5セル）を選択してコピー3の行のセルに貼り付けします。（左図の場合は、J3セル）
また、今回測定の地デジ他CATVのチャンネルが違う場合、TVデータ見本・データ転載ワークシート・縦横入替編集場所の各シート内のチャンネルを今回測定のチャンネルに修正して下さい。
また、展開ファイルのNO.を確認しながら順番に開いていって下さい。
BSのデータならば16の行、N-SAT110°　CSのデータならば28の行のセルを選択して貼り付けていきます。

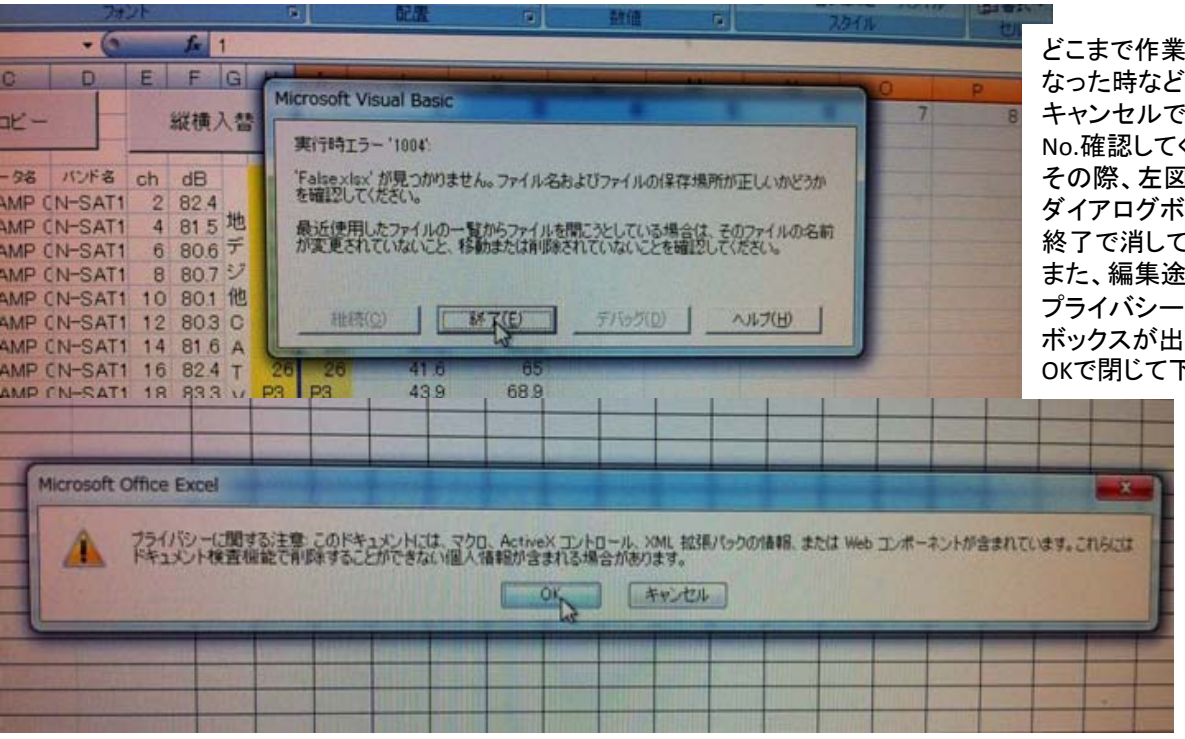
TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明3）









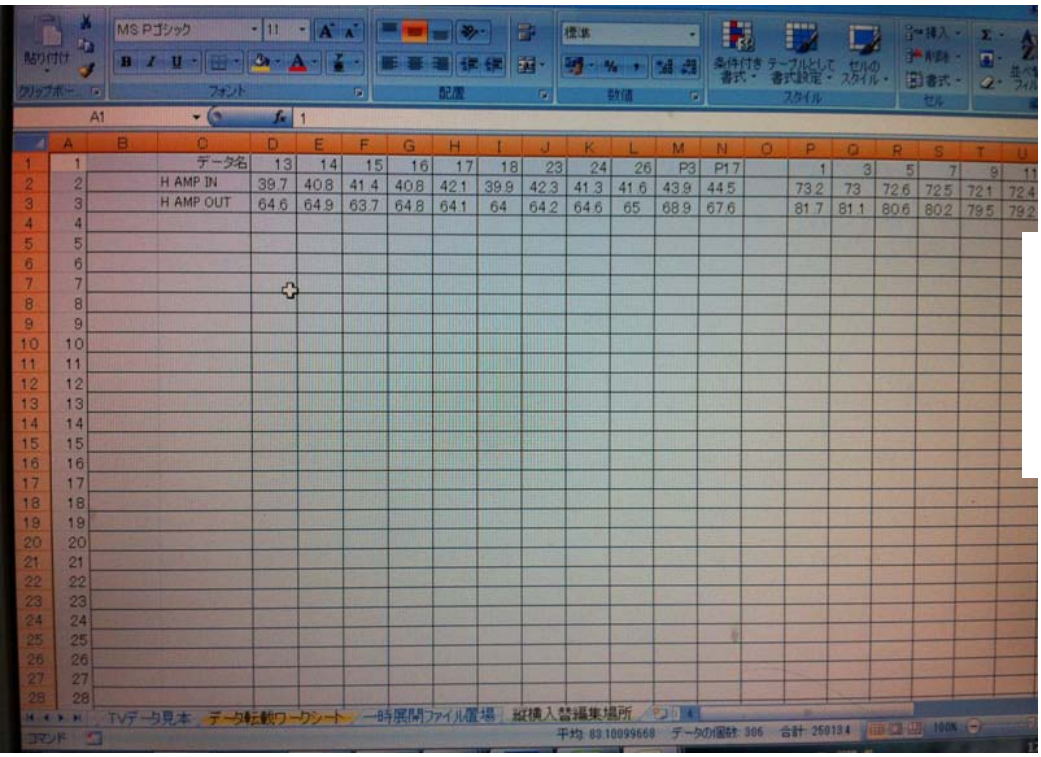


どこまで作業したか分からなくなった時など、作業を一時中断キャンセルで、展開ファイルのNo.確認してください。
その際、左図の「実行時エラー」ダイアログボックスが出ますが、終了で消して下さい。
また、編集途中で下図の様なプライバシーに関するダイアログボックスが出る事がありますが、OKで閉じて下さい。

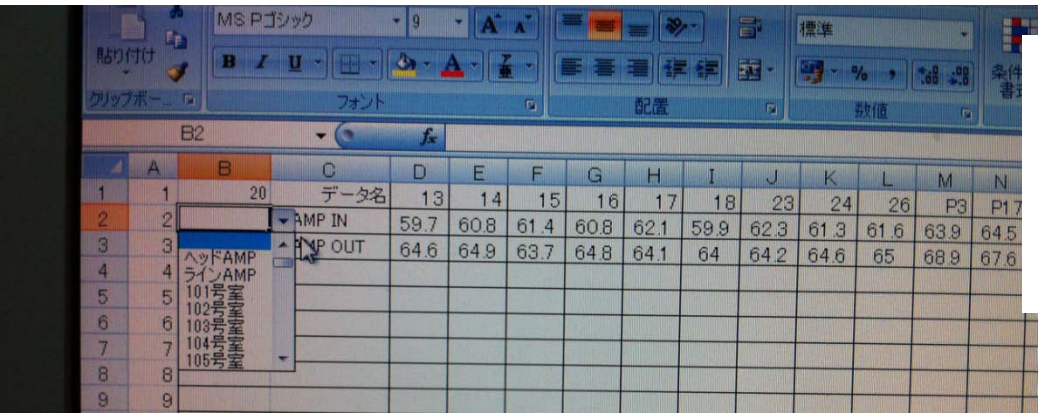
TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明4）

データの貼りつけ作業が全て終わった後の作業について説明していきます。
データ転載ワークシートの

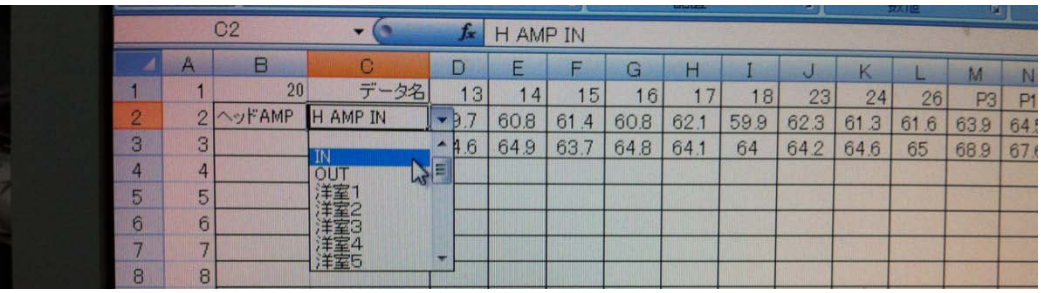
左図の 縦横入替 ボタンをクリックして、下さい。



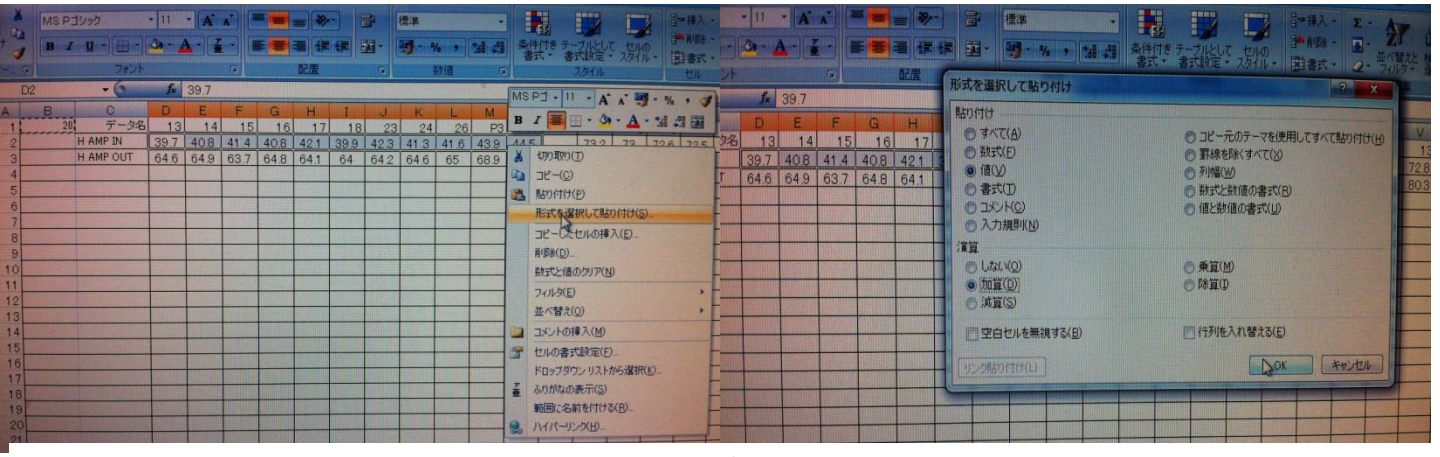
縦横入替　ボタンをクリック後は、縦横入替シートで左図の様に縦横切り替えで、テレビデータ表として、編集しやすい形となります。測定時にチェッカーで仮に付けたデータ名を編集していきます。



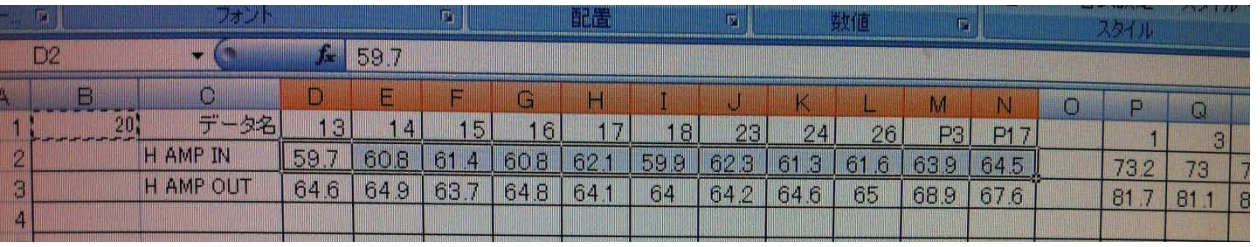
仮に付けたデータ名を参考にして、B列とC列を編集していきます
編集したいセルをクリックしますと、代表的な名称が候補として出てきます。
（その中から選択できます）
その中にない場合は、直接文字を打ち込んで下さい。



TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明5）



また、ブースターのモニター端子等で測定すると20dB低い数値でデーターが残ります。
その場合、B1セルの20と数値が入ったセルを利用して下さい。20と数値が入ったB1セルをコピー状態とし、
20dB上げたいセルを指定し右クリックし、形式を選択して貼り付けを選びます。
その形式の指定として、値と加算を選んでOKしますと、モニターで20dB低い部分の数値が、20dB上がります。



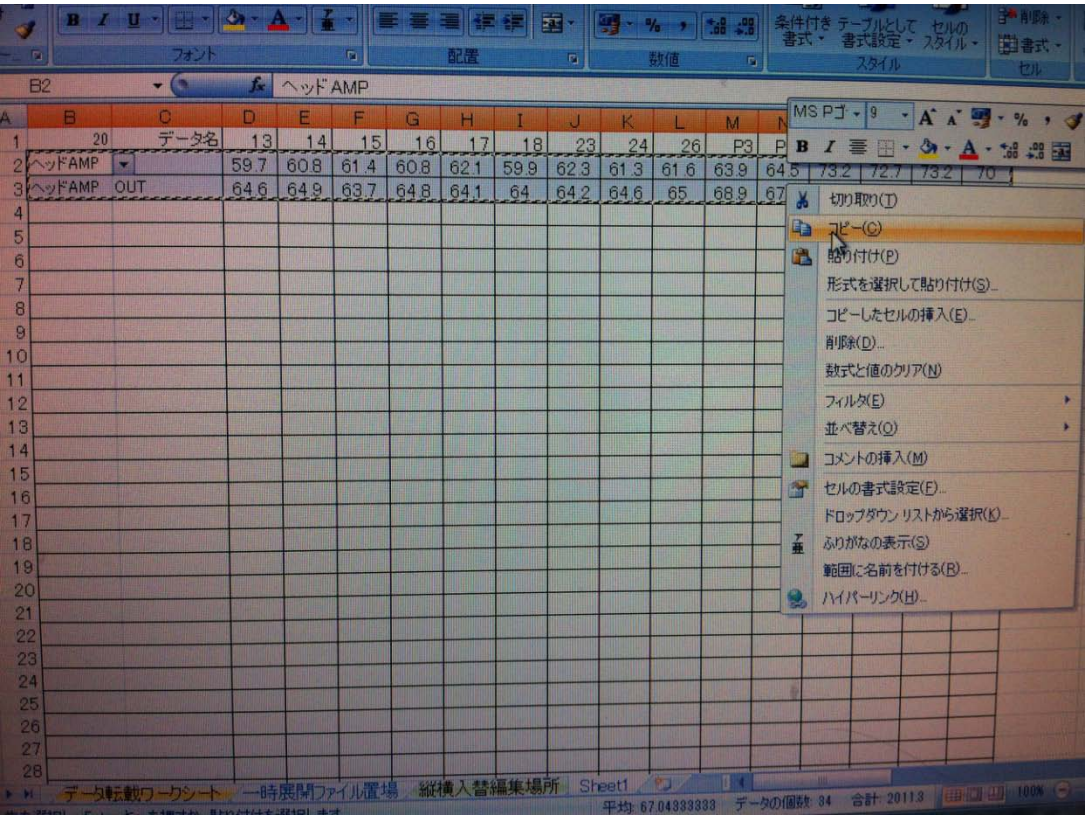
	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	20	データ名	13	14	15	16	17	18	23	24	26	P3	P17		1	3
2		H AMP IN	59.7	60.8	61.4	60.8	62.1	59.9	62.3	61.3	61.6	63.9	64.5		73.2	73
3		H AMP OUT	64.6	64.9	63.7	64.8	64.1	64	64.2	64.6	65	68.9	67.6		81.7	81.1

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	20	データ名	13	14	15	16	17	18	23	24	26	P3	P17	1	15	2	24
2		H AMP IN	59.7	60.8	61.4	60.8	62.1	59.9	62.3	61.3	61.6	63.9	64.5	73.2	72.7	73.2	70
3		H AMP OUT	64.6	64.9	63.7	64.8	64.1	64	64.2	64.6	65	68.9	67.6	81.7	80.8	82.4	82.6

縦横入替シートのデータの中で、特にBSやCS等、不要なチャンネルがある場合、列ごと指定し、
削除して下さい。
（上図は、BSが1chと15chのみN-SAT110°CSが2chと24chのみで、他のチャンネルは削除した場合となります）

測定したチャンネルの全データを念の為、保存したい場合は、シートの一番下のワークシートの挿入より、
シートを新規で増やして、削除する前に全指定して、コピペして保存しておきましょう。

TV試験成績表マクロファイルの使用方法（作業内容説明6）



さて、いよいよ最終段階です。縦横入替編集場所で編集が終了したデータを提出用シートにコピーしていきます。もし、TVデータ見本を使用する場合は、チャンネル等を測定したチャンネルに合うよう編集して下さい。

提出用シートが弊社の作製したTVデータ見本で問題なければ、コピー貼り付けを最後まで続けて、データ表を完成させて下さい。最後に調整試験日・作業員・件名を打ち込めば完成です。お疲れ様でした。

手順 8

作成者:有限会社 小山通信工事 小山 幸男
メールお問い合わせ先:home@koyama-tusin.com
お問い合わせフォーム:
https://cp.hosting-srv.net/ssl/113//www.s1002483.hosting-srv.net/mail_message/postmail.html
マスプロ電工LCV2レンタルサイト: http://www.koyama-tusin.com/rental.page.html